



2/17 東京・標茶ふるさと会交流会が開催されました

東京・標茶ふるさと会（会長 一木義範）交流会が東京都内で開催されました。当日はふるさと会の会員だけでなく、本町からも数多くの方が参加しました。会場ではしべちゃ牛乳などの特産品の試食や近況報告が行われ、故郷を懐かしむ声が聞かれました。



2/12 多大な功績が認められました

農業関係功労者として、北海道産業貢献賞を受賞した門田功一さんが受賞の報告に訪れました。門田さんは農協役員を長く務め、後継者問題や地域の酪農の発展に取り組み、多大な功績を残し受賞されました。門田さんは「身に余る光栄です。役員を長く続けられたのは家族の理解があったからこそですし、積極的に問題に取り組めたのは組合員さんの協力があったからです。」と周りの人への感謝を語りました。



2/21 新しい園舎でのびのびと

町立さくら保育園・標茶幼稚園新園舎完成式が行われました。当日は、商工会青年部から、こいのぼりが寄贈されました。園児たちによる踊りや合唱などが披露され、園児たちは「幼稚園と保育園が一緒になって新しいお友だちができました」と喜びを話してくれました。



2/13 ありがとうございます

寺島^{ひさし}壽さん（磯分内）がノートなど文房具を寄贈してくださいました。寺島さんは「有効に使っていただけるとありがたい」と語り、町長から「子どもたちのために使わせていただきたいと思います」と感謝を述べました。寄贈していただいた文房具は、町内の学校などで使用させていただきます。



2/24 高校の取り組みに理解を深めました

標茶高校・標茶高校教育振興会主催の標茶高校感謝イベント、グラスランドフェアがコンベンションホールういずで行われました。会場では研究発表や東日本大震災被災地視察研修の報告、販売会や体験学習教室などが行われ、高校への理解と協力に対する感謝が伝えられました。

2/15 TPPについて考えました

標茶消費者協会主催の消費者行政活性化事業消費者セミナーがコンベンションホールういずで開催されました。「TPPと日本の進路～希望のもてる安心な未来をめざして～」という演題で、北海道新聞社経済部編集委員の久田徳二さんが「TPPは農業だけではなく、食の安全、雇用などにも影響がある」と参加したおよそ100人の町民にTPPの目的や背景などを講演しました。





3/5 認知症の方を地域で支える

健康づくり講演会および保健推進委員全体研修会がふれあい交流センターで開かれました。今回は認知症サポーター養成講座として、認知症の方とその家族の支援を行っているNPO法人わたぼうしの会会長の佐々木幸子さんを講師に迎えて、認知症の症状と家族や地域の支えについてわかりやすく講演していただきました。



3/7 そば打ち体験をしました

塘路小中学校の子どもたちが塘路駐在所長の白鳥雅剛さんを講師に迎えて、そば打ち体験を行いました。そば粉を練って引き延ばし、切って麺にする作業ではみんな真剣な顔で包丁を入れ、できあがったそばを食べた時には「うまかったです。すごくおいしい」と笑顔があふれていました。



2/27 自衛隊入隊予定者激励会

自衛隊入隊予定者激励会が役場で行われました。今春入隊予定の浅野公德さん（写真前列左から3人目）、田邊賢輔さん（写真前列右から4人目）、和田祐介さん（写真前列左から4人目）に多くの激励の言葉がかけられ、入隊予定者を代表して浅野さんが「立派な自衛官として活動できるように努力を重ねていきたい」と意気込みを語りました。



3/3 女性のつどいが開かれました

標茶町女性団体連絡協議会主催の女性のつどいがコンベンションホールういずで開かれました。150人が参加し、上土幌町はげあん診療所医師の安藤^{みかろ}御史さんから放射能汚染が食品に与える影響について講演があり、笑いヨガの体験会やフリーマーケットが開催されました。

◆A1 町の施設が新しくなる際の備品などは、まず新しい施設で引き続き使用できるものは使用すること、他の町施設で活用できるものは使用すること、そして耐用年数を経過し使用が困難な備品などは廃棄し、クリーンセンターで資源化の分別処理をしております。

広報で一般町民に呼びかけて欲しいとのことですが、通常、施設の引っ越し、施設の解体などの日程が直近にならないと決まらないこと、施設の解体をすぐに行う場合の保管場所の確保、町民に公平にお知らせする時間的余裕、有効な手段がないこともあり右記により処理をしております。

ご提案の、一般町民に提供可能な町の不要備品を含めて不用品のリサイクルを行っていくことは、大切なことでありますので有効な仕組みが出来ないか検討してまいります。

【住民課・教育委員会】

まちづくり ポスト



◆Q1 町の施設を取り壊したりする時に出る不要な備品などを広報で町民に呼びかけて欲しい方に引き取ってもらえるようにして欲しいと思います。

この前小学校が取り壊される際にも、多くの備品がクリーンセンターに持ち込まれたと聞いています。ごみも減るし、資源の有効活用にもなるのでぜひそういった情報を町民に広く伝えてください。

【標茶町オソツベツ
大木 恵理】